



あかりのありか

積み木であかりのワークショップ
～童話を題材とした読書感想光～

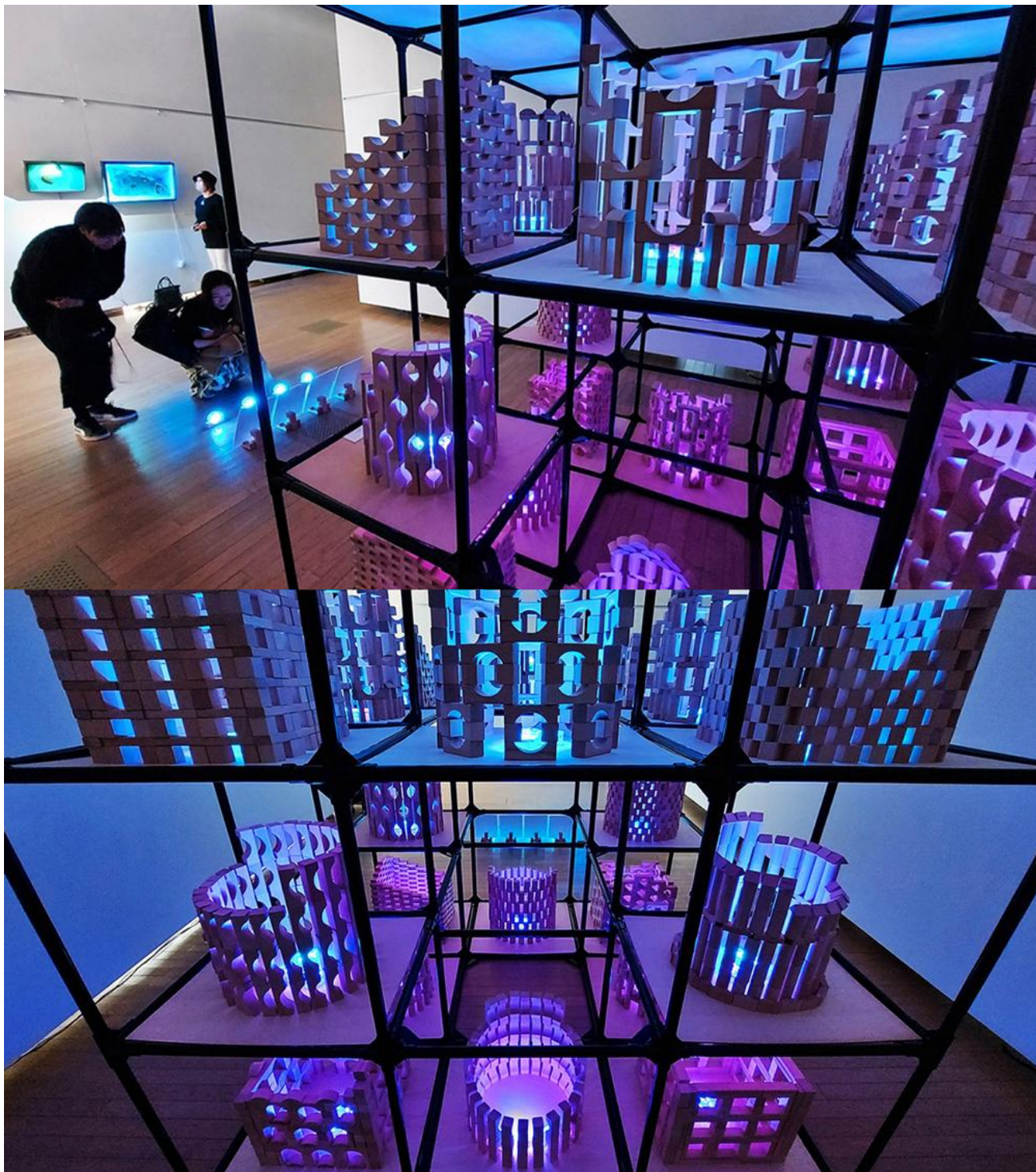
イタリアのレージョ・エミリアでは、光を活用した造形教育が実践されている。しかし日本の小学校の図画工作科では、光やあかりを扱った授業が少ないのが現状である。「光と影の美」をテーマに、子どもたちが自由に遊べる環境の研究を進める私たちは、「あかりの質は光源・反射材・遮蔽材のバランスで決まる」という知見を、子どもたちが体験的に学ぶアートとサイエンスを融合したワークショップを開発し、普及に努めている。

ワークショップでは、子どもたちが「あかりの美しさとは何か」「どうすれば美しいあかりを作れるか」を自発的に探求する。自ら制作したあかりを使い、光と影が織りなす美しさを他者に伝える場も設ける。光源にはLEDを使用し、光源だけでは美しさを感じにくく、直接見ると眩しいだけであることを学ぶ。積み木を反射材や遮蔽材として活用し、光が積み木の表面に反射したり、隙間から漏れたりして、美しい光の演出が生まれる。

題材童話「あかりのありか」は、主人公の紙飛行機こーきが光やあかり、色とりどりの世界を旅する物語であるが、原則としてこーき以外の絵は描かれない。ワークショップでは、童話を読んだ子どもたちが自身の想像した場面を「読書感想光」として積み木とLEDで表現し、立体絵本として仕上げる。この取り組みは、積み木遊びとLEDを組み合わせた造形教育の新たな実践であり、子どもたちの芸術と科学の感性を育む挑戦である。

文化庁 文化・芸術子ども育成推進事業 登録芸術家
造形作家 泰然 + 童話作家 きみきみよ

公式サイト <http://isami.biz/>



作品・インテリアアート
 (積み木であかりのワークショップ)
あかりのありか《えど》

泰 然+きみきみよ
 2024年11月~12月/東京都港区
 国立新美術館 国際公募展 特別賞

子どもたちと童話を題材に積み木とLEDで造形した。江戸文様と江戸紫を主題に異なる20の造形を1辺1間の立方体フレームの中に、会期10日間のうち前半5日間で公開制作した。
 ※右掲は同名の題材童話の一部

ほへは かみひつきの じいぢ。
 かせに のって あかりの ありかを
 たびしてゐるた。
 こゝは とうきょう。
 むかしは えどって いってんだたよ。
 おへやの かざりで つかわれる
 でんとうの えどもんようがあるね。
 よーし、ひとつひとつ みていけ。
 せいがいのは えんが かさなって
 なみのよう「くらかえした
 もんようだ。
 ちどりは みずべで むれとら
 とりたちの ようすだね。
 いちのじつなきは
 れんがを つみあげた かたぢだ。
 やがすりは ゆみやの
 はねを もつてゐるよ。
 いしだたみは いちまじも とうひん
 せいほうけいを とうひん
 しきつめてゐる。



作品・インテリアアート
 (積み木であかりのワークショップ)
あかりのありか《O I》

泰 然+きみきみよ
 2024年2月~3月/静岡県川根本町
 無人駅の芸術祭/大井川 採択・出展

子どもたちと統廃直前の小学校の図書館で造形した「大井川鉄道・奥大井湖上駅」。約1週間、毎日昼休みに小学生が集まり作品を制作した。他の10種類の作品は特別授業で制作した。
 ※右掲は同名の題材童話の一部

ふたりのは とうとう
 おへおへいじごうをまじ
 つきました。

そこは ながしまだむによつて
 つくられた せつそこという
 みずうみに つきでた はんとうの
 うえに ある えきでした。

ふかみどりのいろの せつそこは
 ほうせきの ようです。

えきは その みずうみに
 まるで うかんでゐる ようです。

やったー！ やっと ついたよ。
 なんて すてきな ところなんだ！

こーきと じゅーきは
 とても よろこびました。

うわあー、ほどうが ついた
 あかい てつきょうが あるね。

こーきが そうつて

この てつきょうは
 れいんぼーぶりっじって いうんだって。



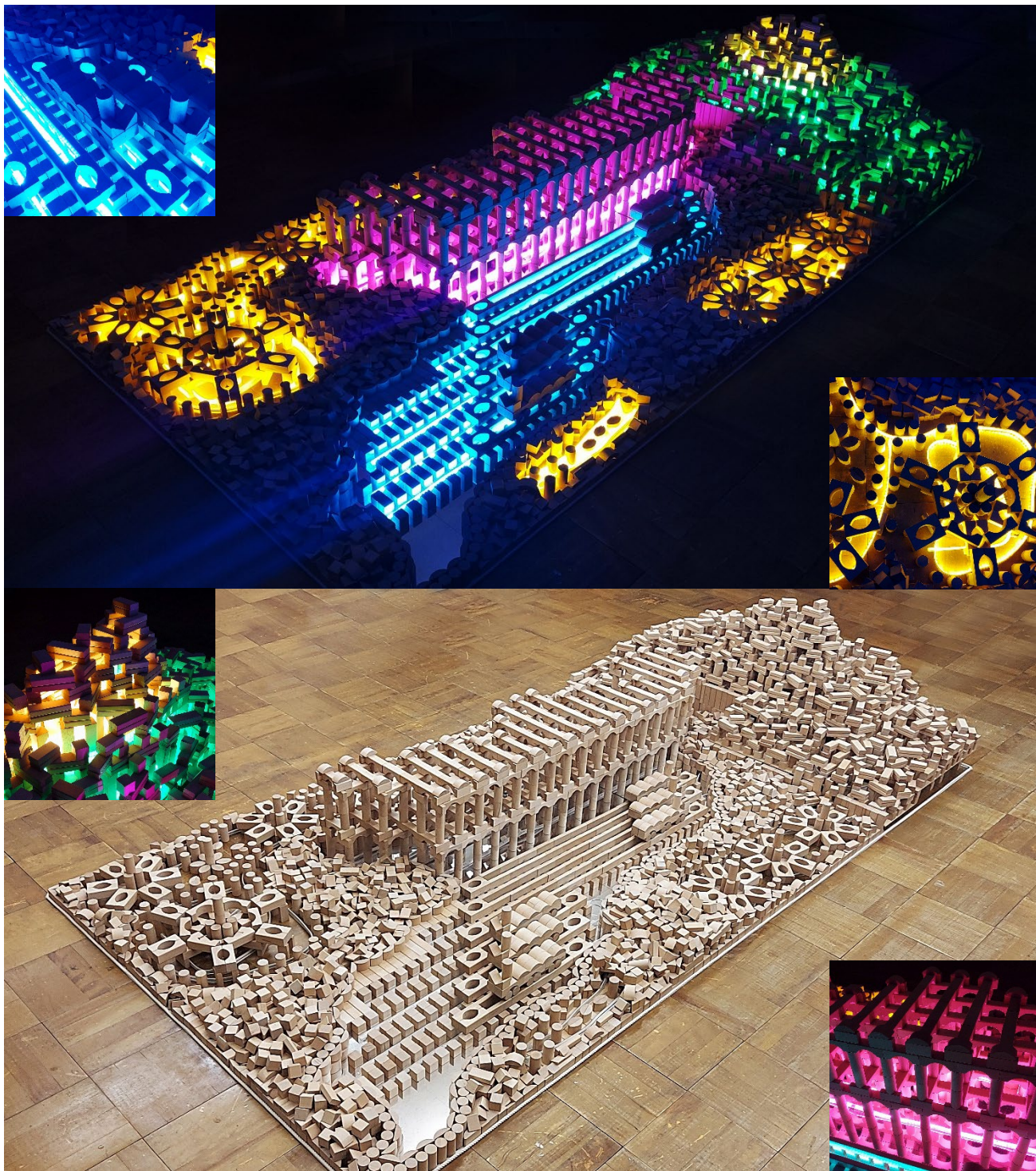
作品・インテリアアート
 (積み木であかりのワークショップ)

あかりのありか《のと》

泰 然+きみきみよ
 2023年9月~11月 / 石川県珠洲市
 奥能登国際芸術祭 採択・出展

子どもたちと童話を題材に積み木とLEDで造形。小学校9校で図画工作科の特別授業後、小学生対象のワークショップを行い、旧小学校の理科室跡と家庭科室跡に作品を制作した。
 ※右掲は同名の題材童話の一部

ぼくは かみじょうきの こーき。
 のとの あかりの ありかを
 かせに のって たびしているんだ。
 うわー、うみに おおきな
 おふねが うかんで いるね。
 まっすく こっちに ちかってくる。
 いやいや あれは しまんだよ。
 みつけじまって いうんだって。
 あたまに みどりいろの
 かんむりを かぶっているようだね。
 おつきさまの ひかりに てらされて
 とも きわいに かがやいているよ。
 ふえや たいこや かねの
 にぎやかな おおが きこえるよ。
 ちからつよい かけこえも
 たくさん きこえている。
 きりこまりって いうんだって。
 まちの なかを たかくて おおきな
 きりことうろつが ねらあんの。
 いさましい その すかたは
 ひかりが おどっているようだね。

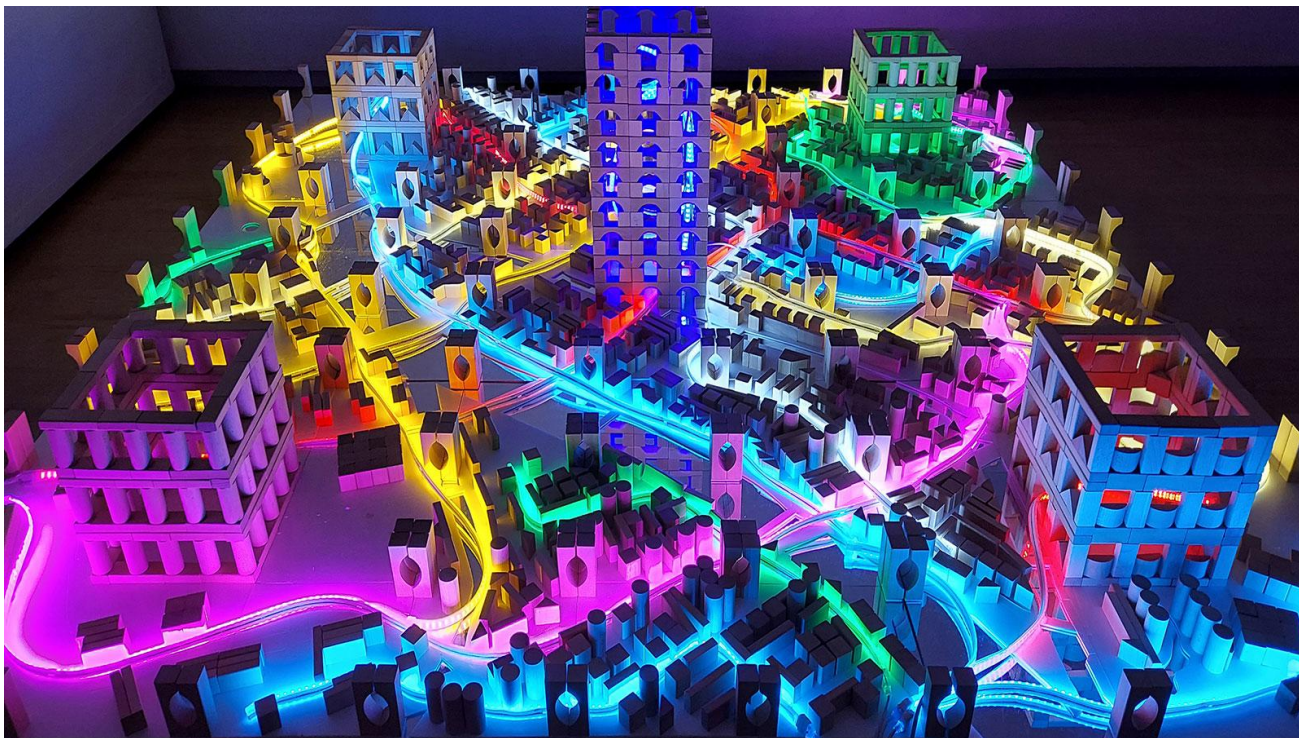


作品・インテリアアート
 (積み木であかりのワークショップ)
あかりのありか《光ノ山》

泰 然十きみきみよ
 2025年9月~10月 / 群馬県中之条町
 中之条ビエンナーレ 採択・出展

中之条小学校と吾妻特別支援学校の子どもたちと、題材童話をもとに「光ノ山」や「中之条」を積み木とLEDで表現した。メイン作品「おおしえき」の制作では、廃校舎の教室跡を芸術空間に再生した。
 ※右掲は同名の題材童話の一部

あれ、なにか みえるよ。これは…
 はたらく ひとたちの えがおだ。
 みんな きらきらしている。
 ねえ、えきちようさん…
 こーきが ふりかえると、
 えきちようさんの すがたは
 もう ありませんでした。
 そうか！ ひかりのやまは
 ほくが いままで みてきた
 うつくしい しせんや
 うみだされる たからもの、
 そして たのしそうな
 ひとびとの くらし…
 なかのじょうの ゆたかさや
 にぎわいの せんぶの
 ことだったんだ。
 こーきは おおしえきから
 そらの かなたへ とびたちました
 ほくは やつと みつけたよ。
 これが ひかりのやま なんだね。



作品・インテリアアート
 (積み木であかりのワークショップ)
あかりのありか《はかた》

泰 然+きみきみよ
 2024年4月/福岡市博多区
 福岡アジア美術館 国際公募展 第1位

鏡で魅せる那珂川が、福岡と博多のまちを分ける。「躍動」という展示会のグランドテーマを、この都市のヒト・モノ・コトのダイナミズムと捉え、光のラインのアクションペインティングで表現した。
 ※右掲は同名の題材童話の一部

ほくは かみひじきのみ こしき。
 きよつは ふくおかしの
 はかたに やつてきたんだ。
 おや、たぐさんのびるが たっている。
 はかたは むかしから ある
 とても おおきな まちなんだ。
 えじだい、とくがわ ほくひに
 おんられていた はかたおりが
 ここには あるんだよ。
 ほそい たていとを たぐさんつかい、
 ふとい よこいとを ちからつよく
 うちこんで つくる きぬおりものだ。
 ひっぱっても こしが あるから
 きもののおひに びったりなんだって。
 いまの いきいきとした まちなみに
 むかしの おちついた きぬおりもの。
 みらいと れきしを かんじる
 すてきな くみあわせて
 ほくも ひきこまれて いへよ。



作品・インテリアアート
 (積み木であかりのワークショップ)
あかりのありか《みと》

泰 然+きみきみよ
 2024年6月/茨城県水戸市
 LIT LIGHTING DESIGN AWARD 特別賞

2日間開催された水戸葵陵高等学校の文化祭で、水戸市の都市地図をベースに、建物を積み木で、道路・鉄道・河川をテープLEDで製作した。高校生・保護者・地域住民らが参加した。
 ※右掲は同名の題材童話の一部

こんどは みどりが
 とても うつくしい
 こうえんが みえてきたぞ。
 にほん さんめいえんの ひつこ
 かいらくえんだ。
 えじだいに
 とくがわ なりあき こうが
 りようみんも たのしむほに したい
 というみで なづけた
 にほんていえん なんだ。
 しろや あわい
 べにいろの うめのきが
 なんせんほんも あるね。
 いろあざやかで とても きれいだ。
 あれ、こちらには
 ひかり かがやく うつくしい
 みずうみが あるね。
 せんばこって いう みずうみだ。
 たくさんの ひとが
 すわんぼーとに のって
 たのしそうに あそんでいるよ。



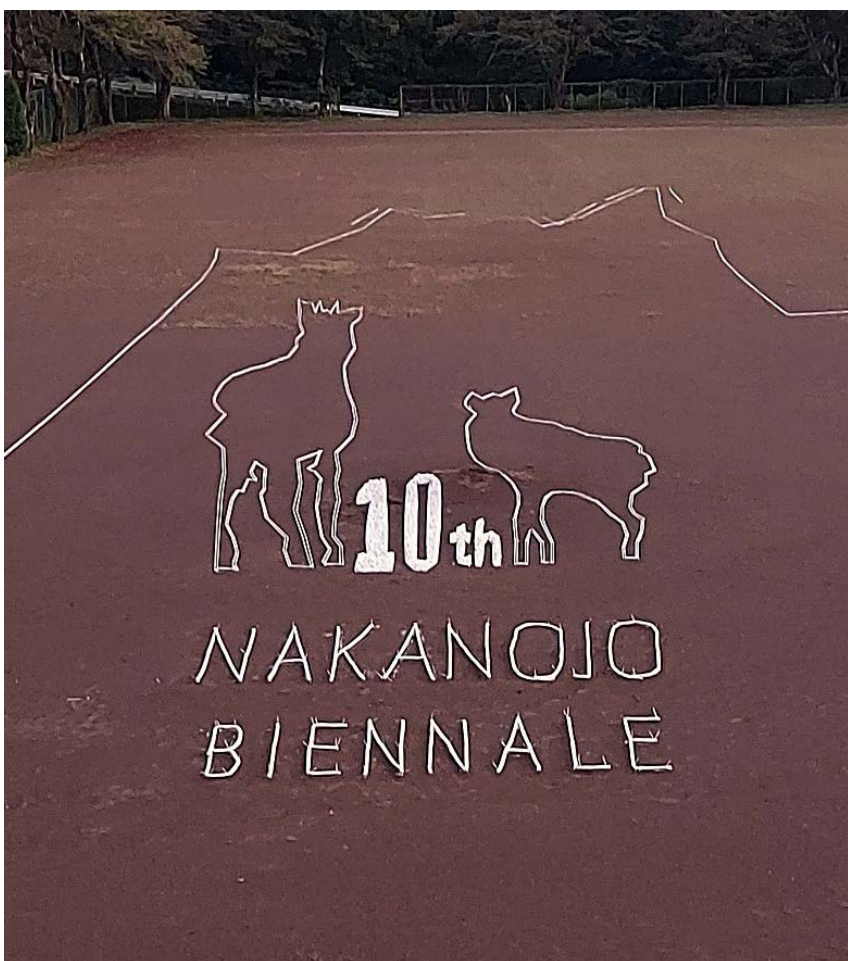
作品・インテリアアート
 (積み木であかりのワークショップ)
海峡の光梁 (かけはし)

泰 然

2025年10月～11月 / 福岡市東区
 九州産業大学 KSU VISION DAY 出展
 (韓国・大邱大学 共同制作)

子ども教育学を専攻する韓国・大邱大学と九州産業大学の学生で作品を制作するワークショップを実践した。左端から大邱大学が、右端から九州産業大学が作り始め、中央で海峡の光梁として繋がった。下段は子どもたちが制作した。





作品・ランドアート
 (大地を測るワークショップ)

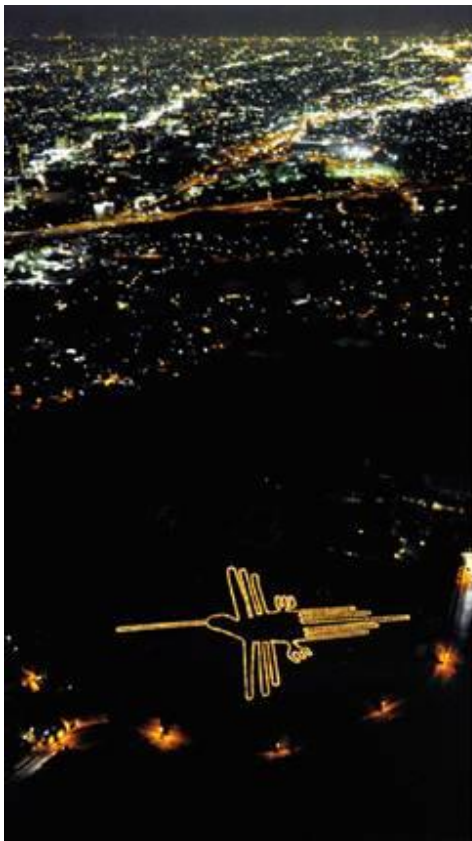
ラ・アナモルフォーズ (歪像)

泰 然

2025年9月~10月 / 群馬県中之条町
 中之条ビエンナーレ 採択・出展

正しく測ることの大切さを体験するアート・サイエンスコミュニケーション活動「大地を測るワークショップ」では、平板測量技術を用いて原図を拡大し、巨大な地上絵を描く。これを群馬県立吾妻中央高等学校環境工学研究部の生徒らとともにに行った。生徒らは、日本学校農業クラブ連盟全国大会平板測量競技会で最優秀賞を受賞した実績を誇る。アナモルフォーズ (anamorphose) とは、フランス語で絵画や素描において描かれた歪像 (わいぞう) を意味し、特定の視点から見たり、器具を使用したりすると正常に見えるデザイン技法のことである。事例として、実際にはグラウンドに斜めに描いているが、テレビで見ると立て看板に見えるサッカーゴールの横にある広告等で、一般的によく知られている。





「ナスカの地上絵の再現」は、小学生に正確に測ることの重要性を伝えるワークショップである。飛行機がなくても、原始的な道具を使えば地上絵を描けるとい推理のもと、小学生は古代の謎に挑戦する。放射法の測量原理を使い、原図の原点と測点を結ぶ単純な作業を通じて、測量技術や算数の「比例」の応用を学ぶ。また、画鋸と糸を使った手軽な教材で、誰もが簡単に取り組める仕組みを導入した。このワークショップは、全国40箇所以上で実施され、集団作業を通じて責任感や失敗を乗り越える力を養うと同時に、小学生の科学への興味と探究心を育みながら意欲を向上させる成果を上げている。

作品・ランドアート（大地を測るワークショップ）

ナスカの地上絵の再現 泰然

2008年～ 小柴昌俊科学教育賞グランプリ 受賞／科学技術振興機構サイエンスアゴラ 採択・出展



「伊能忠敬のようなこと」は、中学生や高校生に数学の「相似」と測量技術の関係を示す教育実践である。江戸時代に「大日本沿海輿地全図」を作った測量家、伊能忠敬（1745年～1818年）を題材に、彼が使った小方儀と同様の簡易測量器アリダードを用いて巨大地図を描く。このワークショップでは、測量の基礎原理を学ぶとともに、GPSが当たり前の現代において、先人の業績に思いを馳せる機会を提供する。このワークショップは、中学生や高校生の興味や探究心を育むと同時に、測量技術の基礎を楽しみながら学び、深く理解できる内容として高く評価され、幅広い学校で継続的に実践されている。

作品・ランドアート（大地を測るワークショップ）

伊能忠敬のようなこと 泰然

2008年～ 日本建築家協会ゴールデンキューブ賞 受賞／科学技術振興機構サイエンスアゴラ 採択・出展



作品・童話

にゃんたとおつきさま きみきみよ

2020年9月 文芸社 刊

こども環境学会（こども環境楽）書評掲載

評：この絵本は、にゃんた君がお供えの「月見団子が減らないなあ〜」という小さな疑問をもち、お月様にお団子を届けたいと大きなお月さまに向けて走り出す物語。海まで走り続けるが、届けることができない。思案していると月は「にゃんた君の気持うれしいよ」と声をかけ、お月様のところまで体が登っていく。月に照らされた眼下には、たくさんのお家に団子がきらきらと輝いている。「月はお団子を食べないけれど、みんながお団子をつくり幸せに暮らしていることを月に見せているんだ」と十五夜お月様の由来を小さなお子さんにもわかりやすく説いている。江戸時代から庶民に根付いてきた月見行事を考えるヒントの小さな物語。ぜひ、親子で一緒に夜空を眺め、お月見や満月の意味を考えて下さい。夜空に輝く星や月のカタチが変化していく様子を親子で一緒に観測し、さらに他の宇宙の絵本を読みきかせてお子さんの夢を広げていただきたいですね。

（小澤紀美子 様／東京学芸大学 名誉教授）

おつきさまはお団子を食べるのかな？ 知りたがりの茶トラの仔猫のにゃんたは、知りたいと思いました。にゃんたはおつきさまに向かって走り出しました。にゃんたの大冒険の始まりです。「おつきさま、お団子に手が届かないの？ だったら僕がお団子を持ってあげてあげるね。」小さいお子さんに読んで聞かせてあげたい「お月見の不思議な物語」です。

動物たちがぶらんこを通して交流し友情を育む、心温まる物語です。昼間は多くの動物たちが集まり、楽しい時間を過ごします。一方、夜にはフクロウが一匹でぶらんこに座り、他の動物たちと文通を重ねて友情を育むストーリー。物語は、直接会うことができない状況でも絆を築くことができるというメッセージを届けています。動物たちの交流を色彩豊かな絵と共に描いています。

日本新薬こども文学賞は、未来を担う子どもたちの夢を彩り、心の成長を見守るため創設された文学賞です。応募された1,133点から選ばれた最優秀賞作品「森のぶらんこ」をもとに、絵本2万冊が制作され、全国の医療機関や公共施設を通じて子どもたちの元に届けられました。（同社広報課）

評：コロナ禍で、会いたい人に直に会い、話ができない日々が続いています。そのような現状に希望の光を灯してくれるような物語が、今回の最優秀賞作品となりました。一台のぶらんこを通して友情が育まれていく過程が、やさしくていねいに描かれています。読み終えて、会えなくても心はつながるのだと、静かな感動が胸に広がりました。

（山本省三 様／日本児童文芸家協会 理事長）

作品・童話

森のぶらんこ きみきみよ

2021年10月 日本新薬こども文庫 刊

日本新薬こども文学賞最優秀賞 受賞



創作活動の履歴書

文化庁 文化・芸術子ども育成推進事業 登録芸術家
泰 然+きみきみよ ユニット活動

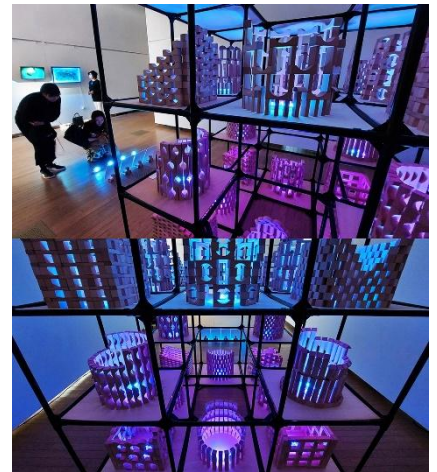
- 2026年 秋吉台国際芸術村 フェロー・アーティスト 採用
作品「あかりのありか《DO》」
- 2025年 LIT Lighting Design Awards (スイス) 特別賞 受賞
作品「あかりのありか《みと》」※
- 2025年 国際現代芸術祭 中之条ビエンナーレ 採択
作品「あかりのありか《光ノ山》」
作品「ラ・アナモルフォーズ (歪像地上絵)」
- 2024年 国立新美術館 国際公募展 採択・出展/特別賞 受賞
作品「あかりのありか《えど》」【本頁右掲】
- 2024年 福岡県那珂川市教育委員会事業 委託・出展
作品「さくたのうなでのライトアップ」
- 2024年 奥能登珠洲支援アーティスト展 出展
作品「風屏風 (かぜびょうぶ) 2024」
- 2024年 日本保育文化学会大会ワークショップ+国際シンポジウム
課題「あかりのありか (おもちゃのチャチャチャ)」
- 2024年 水戸葵陵高等学校 芸術家招聘事業 委託・出展
作品「あかりのありか《みと》」※
- 2024年 福岡アジア美術館 国際公募展 採択・出展
躍動する現代作家賞・来場者投票第1位賞 受賞
作品「あかりのありか《はかた》」
- 2024年 無人駅の芸術祭/大井川 採択・出展
作品「あかりのありか《O I》」【本頁右掲】
- 2023年 科学技術振興機構 サイエンスアゴラ 採択・出展
作品「あかりのありか《おだいば》」
- 2023年 さいたま国際芸術祭・応援プログラム 採択・出展
作品「ひかりの夜獣・スリッパノサウルス」
- 2023年 奥能登国際芸術祭 採択・出展
作品「あかりのありか《のと》」【次頁右掲】
- 2025年 福岡県教育文化奨学財団 助成
活動「積み木であかりのワークショップ
～次世代指導者育成教室～」
主な実践先：九州産業大学、九州大谷短期大学、福岡女学院大学
中村学園大学短期大学部、九州女子短期大学、白梅学園短期大学
- 2019年 国立青少年教育振興機構 助成 (現在に至る)
活動「積み木であかりのワークショップ/特別授業」
主な実践先：長門おもちゃ美術館、福岡おもちゃ美術館
福岡県那珂川市立南畑小学校、佐賀県基山町立若基小学校

九州産業大学人間科学部兼担建築都市工学部 准教授
造形作家 泰 然 (本名：諫見泰彦) ソロ活動

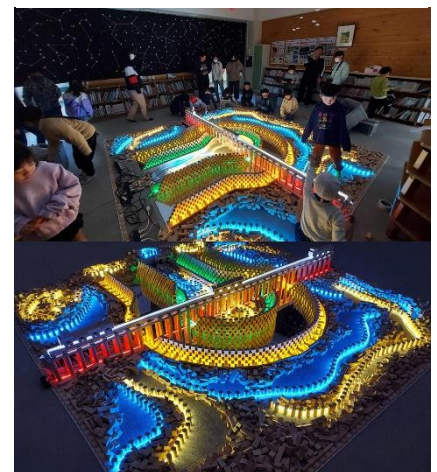
- 2023年 日本建築家協会ゴールドエンキューブ賞 (組織部門) 受賞
活動「積み木であかりのワークショップ」
- 2023年 共著書「子ども中心の実践に学ぶ保育内容総論」建帛社刊
- 2014年 日本建築家協会ゴールドエンキューブ賞 (学校部門) 受賞
活動・作品「伊能忠敬のようなこと」【次頁右掲】
- 2014年 日本学術振興会科学研究費研究成果公開事業推進賞 受賞
活動「わくわくインテリアコーディネート塾」
- 2009年 小柴昌俊科学教育賞グランプリ 受賞
活動・作品「ナスカの地上絵の再現」【次頁右掲】
- 2007年 国土交通大臣賞 受賞 (実践団体の主要構成員として)



左:造形作家 泰 然(諫見泰彦) 右:
童話作家 きみきみよ (諫見公与)
公式サイト <http://isami.biz/>



作品・インテリアアート「あかりのありか《えど》」(泰然+きみきみよ・2024年11月～12月・国立新美術館 国際公募展 特別賞受賞) 子どもたちと童話を題材に積み木とLEDで造形した。江戸文様と江戸紫を主題に異なる20の造形を1辺1間のフレームの中に、会期10日間のうち前半5日間で公開制作した。



作品・インテリアアート「あかりのありか《O I》」(泰然+きみきみよ・2024年2月～3月・無人駅の芸術祭/大井川 採択・出展) 子どもたちと童話を題材に積み木とLEDで造形。統廃直前の小学校の図書館で造形した「大井川鉄道・奥大井湖上駅」。約1週間、毎日昼休みに小学生が集まり作品を制作した。他の10種類の作品は特別授業で制作した。

- 2006年 九州大学大学院芸術工学府 表彰
- 2005年 読売教育賞（地域社会教育活動部門）受賞
- 2005年 松下教育研究財団賞 受賞
- 2004年 日本産業技術教育学会九州支部教育研究奨励賞 受賞
- 2004年 日本科学未来館館長賞（毛利 衛賞）受賞
- 2004年 共著書「建築を拓く：建築・都市・環境を学ぶ
次世代オリエンテーション」鹿島出版会刊
- 2003年 ヴォランタリーアーキテクツネットワークコンペ
北山 恒賞・村上處直賞・野田俊太郎賞 受賞
- 2003年 時事通信社賞 受賞
- 2002年 読売教育賞（生活科・総合学習部門）受賞
- 1995年 松下視聴覚教育研究賞 受賞
- 1995年 長崎県教育論文最優秀賞 受賞
- 1993年 毎日郷土提言賞準グランプリ 受賞
- 1992年 毎日郷土提言賞優秀賞 受賞

一般社団法人 日本児童文芸家協会 正会員
童話作家 きみきみよ（本名：諫見公与）ソロ活動

- 2025年 糸島国際芸術祭 採択・出展
童話「続 しあわせまちのわんわんちゃん」（全13話）
- 2024年 日本児童文芸家協会「児童文芸」掲載
童話「雨の日の女の子」
- 2024年 全国童話人協会総会 講演
演題「おはなしが生まれるとき」
- 2024年 アクロス福岡企画展（個展）開催
童話「しあわせまちのわんわんちゃん」（全13話）
- 2023年 糸島国際芸術祭 採択・出展
童話「しあわせまちのわんわんちゃん」（全4話）
- 2023年 日本児童文芸家協会「児童文芸」掲載
童話「ぼっきーちゃん おにいちゃんになる」
- 2021年 日本新薬子ども文学賞 最優秀賞 受賞
童話「森のぶらんこ」【本頁下掲】
- 2020年 童話作家デビュー・文芸社刊
童話「にゃんたとおつきさま」【本頁下掲】



童話「にゃんたとおつきさま」（きみきみよ・2020年・文芸社刊）好奇心旺盛な仔猫が月を目指す冒険物語。仔猫がお団子を月に届けようとする。お月見の意味を子どもたちに伝える。

童話「森のぶらんこ」（きみきみよ・2021年・日本新薬子ども文学賞物語部門 最優秀賞 受賞）会いたくても会えない昼と夜の動物の友情物語。コロナ禍の世情に適い高い評価を得た。



作品・インテリアアート「あかりのありか《のど》」（泰然+きみきみよ・2023年9月～11月・奥能登国際芸術祭 採択・出展）子どもたちと童話を題材に積み木とLEDで造形。小学校9校で図画工作科の特別授業後、小学生対象のワークショップを行い、旧小学校の理科室跡と家庭科室跡に作品を制作した。



作品・ランドアート「伊能忠敬のようなこと」（泰然・2014年・日本建築家協会 ゴールデンキューブ賞 受賞）平板測器を用い測量と逆手順で巨大地図を作図。初の正確な日本地図を作成した江戸期の測量家・伊能忠敬の業績を題材に追体験した。



作品・ランドアート「ナスカの地上絵の再現」（泰然・2009年・小柴昌俊科学教育賞 グランプリ 受賞）画鋸と糸のみで測量の単純化。小学校算数を応用し、「ナスカの地上絵」は、宇宙人が描いたものではないことの証明に、小学生が挑戦した。



Building Block Light Workshop

Taizen+Kimikimiyo
A Couple of a Sculptor and a Fairy Tale Writer



Where the Light Dwells: Edo(2024)
Winner of the Special Prize at
the National Art Center, Tokyo
International Public Exhibition

創作活動の履歴書

文化庁 文化・芸術子ども育成推進事業 登録芸術家

造形作家 泰然 + 童話作家 きみきみよ

<http://isami.biz/>